

平成30年司法試験 合格体験記

平成29年度修了（既修コース）河上 悠里

このたび、平成30年度の司法試験に合格しました、13期既修の河上悠里です。岡山大学を卒業したあと、岡山大学法務研究科に入学し、平成29年度に卒業しました。以下では、勉強方法や司法試験受験に向けて気を付けていたことなどを述べさせていただきます。

短答対策としては、ひたすら肢別本を回しました。過去問だけでは不十分と感じたテーマ（たとえば、相隣関係等）についてのみ、TKCの短答問題を解きました。短答対策で気を付けていたこととしては、①正解した問題の正解の仕方に注意すること、②論文対策と切り離さないことの2点です。①について、わたしは理由を理解した上で正解できた問題には○をつけ、答えは正解でも理由が分からず、次回間違える可能性がある問題については△をつけて分類していました。おそらく、みなさんも本番が近づくにつれて過去問を何度もとく上で、複数回取り組む問題の取舍選択をしていくと思います。その際、本当にその問題を2度と間違えない自信があるかどうか、注意してみてください。②については、具体例が思い浮かびませんが、意識するだけで変わると思います。効率化のためにも注意してみてください。

論文については、常に本番を意識して、答案を書く機会をしっかりと設けてください。上位答案や出題趣旨・採点実感を検討することは重要です。ですが、本番ではそれらの資料がない状態で答案を書きます。そのため、何も見ずに2時間で答案を書くことに慣れてください。答練等でもその練習はできますが、やはり過去問でこの訓練をしておくことは必須だと思います。本番は緊張し、いつも通りの力が発揮できないことの方が多いと思います。だからこそ、普段から本番と同じ状態で答案を書いておいてください。

最後になりましたが、お世話になった方々にここでお礼申し上げます。後輩のみなさんも頑張ってください。